

利用案内

◎開館時間 9:30～17:00(観覧受付は16:30まで)
休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)、
企画展前後の展示準備・撤収期間(各2～4日)、燻蒸などの臨時休館日

◎企画展観覧料
一般410円、大高生200円(常設展示のみ 一般200円、大高生100円)
※20名以上の団体は2割引。中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名、
群馬県民の日(10月28日)に観覧の方は無料。

団体利用について

当館職員による解説も可能ですので、事前にご連絡ください。

施設案内

◎閲覧室
当館所蔵資料についての情報公開をしています。閲覧室に並んでいる一部の書籍
以外には閉架となっており、「図書」「雑誌」については、手続きにより直接ご覧になれます。
「特別資料」(禁閲覧・禁複写)については、画像データでご覧になれる資料もあります。
閲覧資料のコピーサービス(有料)に関する受付時間は9:30～16:30です。

◎映像展示室
お好きな映像を選んでご覧いただけます。①万葉集 東歌紀行【約8分】 ②土
屋文明 ひとりとなり【約11分】 ③短歌の世界 詠み継がれる歌ごころ【約11分】 ④
生命(いのち)の讃歌—山村暮鳥・その詩と生涯—【約24分】 ⑤文学の広場—群馬県
立土屋文明記念文学館—【約14分】 ⑥ぶらり散策—文明と暮鳥—【約13分】

◎絵本のひろば
絵本を中心に子どものための本を1,400冊以上集めたコーナーです。1階ロビーにあり、
ゆっくり本を読むことができます。(大型絵本もあります。)

◎ミュージアムショップ
企画展図録をはじめ、当館のシンボルマークを型どったオリジナル干菓子(和三盆)
「ふみ」、便箋や封筒などの当館オリジナルグッズや文学関係の書籍・グッズを扱って
います。通信販売にも対応していますので、当館まで電話でお問い合わせください。

◎喫茶室: テーブル36席+カウンター5席
2019年2月現在営業していません。営業再開後ホームページ等でお知らせします。

◎設備
・エレベーター ・車椅子 ・ベビーカー ・車椅子優先トイレ
・コインロッカー ・オムツ交換台 ・AED

施設利用

研修室など施設の有料貸出も行っています。詳しくはお問い合わせください。

県立文学館ボランティア(2019年2月現在)

- ①おはなしのへや…………… 夏休み期間中に行う「なつやすみ おはなしのへや」などの
紙芝居の上演、絵本の読み聞かせなど ※
 - ②閲覧室…………… 閲覧室業務の補助(利用案内など) ※
 - ③広報…………… 勤務先や近所などへの当館事業の広報・宣伝 ※
 - ④交通整理誘導…………… 大きなイベントの際の駐車場の整理誘導 ※
 - ⑤展示解説…………… 常設展示室の解説
 - ⑥ミュージアムショップ…………… ミュージアムショップの運営など
 - ⑦ティーサービス…………… 和室での抹茶や煎茶のサービス
 - ⑧環境美化…………… 花の提供、清掃など
- ※は随時募集。募集方法や内容については、電話などでお問い合わせください。

はにわとシルクと文学の高崎北ミュージアムトライアングル

高崎市の北部には個性豊かな3つのミュージアムが集まっています。
「はにわとシルクと文学の高崎北ミュージアムトライアングル」として共通カレンダーの
発行などの連携を深めています。(日本絹の里と当館に限り、両館の間でのみ2館目の
観覧料が割引となる「2割引券」を差し上げています。)

◎かみつけの里博物館(高崎市立) ※当館から徒歩5分
様山東南麓で出土した5世紀後半(古墳時代)の人物・動物埴輪や当時を再現した
模型が展示されている考古博物館です。
〒370-3534 群馬県高崎市井出町1514 tel.027-373-8880 fax.027-373-8822

◎群馬県立日本絹の里 ※当館から車で10分
絹や絹に関する資料や群馬の絹製品などの展示、絹を使った染織体験などにより、伝
統ある群馬県の蚕糸絹業の足跡と天然繊維である絹のすばらしさを紹介しています。
〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 tel.027-360-6300 fax.027-360-6301

交通案内

▼自動車
・ 関越自動車道前橋IC
から15分
・ 伊香保温泉から30分

▼電車+タクシー
・ JR東京駅から上越新
幹線または北陸新幹線
でJR高崎駅まで約50分
・ JR上野駅から高崎線
でJR高崎駅まで約1時間
40分
・ JR新宿駅から湘南新宿
ラインでJR高崎駅まで
約1時間40分
・ 高崎駅西口からタク
シーで20分、高崎問屋
駅問屋口からタクシー
で15分

※高崎駅～高崎問屋
駅はJR両毛線、上越線
で1駅、約3分(1時間に
数本)

▼バス
◎高崎駅から
・ 群馬バス「橋東(しんとう)村役場」行き(西口2
番バス乗り場)
保渡田(ほどた)バス停
下車徒歩3分、片道430円
・ 市内循環バスぐるりん
大八木線(北高・浜川体
育館コース【下り】)
(西口9番バス乗り場)
井出町西(いでまにちし)
バス停下車徒歩15
分、片道200円
※お乗りは北高・浜川体
育館コース【上り】とな
り、南側のバス停となり
ます。

バス時刻表(2019年2月現在)		※頻繁に変更があるためご確認の上おかけください	
高崎駅発	着(下車バス停)	発(乗車バス停)	高崎駅着
7:40 土日祝運休	〈群馬バス〉 7:58 保渡田	9:56 井出町西	〈ぐるりん〉 10:28
9:40	〈群馬バス〉 10:02 保渡田	11:52 井出町西	〈ぐるりん〉 12:27
9:45	〈ぐるりん〉 10:20 井出町西	12:03 保渡田	〈群馬バス〉 12:36
11:41	〈ぐるりん〉 12:16 井出町西	13:25 井出町西	〈ぐるりん〉 14:00
13:40	〈群馬バス〉 14:02 保渡田	15:03 保渡田	〈群馬バス〉 15:36
13:40	〈ぐるりん〉 14:12 井出町西	15:15 井出町西	〈ぐるりん〉 15:50
15:22	〈ぐるりん〉 15:57 井出町西	16:03 保渡田 土日祝運休	〈群馬バス〉 16:36
		17:02 井出町西	〈ぐるりん〉 17:38
		18:03 保渡田	〈群馬バス〉 18:36
		18:57 井出町西	〈ぐるりん〉 19:32

◎前橋駅から
・ 関越交通バス「土屋文明文学館」行き
(北口5番バス乗り場から県庁前、NHK東、三
ツ寺、かみつけの里博物館前経由)
土屋文明文学館バス停(終点)下車徒歩1分、
片道430円、前橋駅←→土屋文明文学館は
約30～35分
※高崎駅～前橋駅はJR両毛線で4駅、約15分
(1時間に3本程度)
◎バス料金は2019年2月現在



バス時刻表(2019年2月現在)
※頻繁に変更があるためご確認の上おかけください

施設概要・事業案内

2019.4—2020.3

群馬県立土屋文明記念文学館

Gunma Prefectural Museum of Literature
in Commemoration of Bunmei Tsuchiya



当館は平成8年(1996)に開館した群馬ゆかりの文学を中心として扱う県立の文学館です。

当館オリジナル「三十六歌人」人形から

やまへのあかひと
4 山部赤人
(生没年不詳、作歌年次の分かるものは
神亀元年(724)～天平8年(736))

春の野にすみれ摘みにと奏しわれぞ野をな
つかしみ一寝寝にける 『万葉集』

「今頃の春の野原には、きつとスマレの花が咲いて
いるだろうと思ひ、ほんのちょっと立ち寄るつもりで、こ
こにやってきた。ところが、あまりにもこの野原に心が引か
れて去りがたくなってしまい、気がついてみたら一晩を明
かしてしまったことだよ。」といった意味です。自然に親
しむおらかな気持ちを詠んでいます。

つちやぶんめい
土屋文明が100年前(1919年)に発表した歌
並ぶ町家大戸おるせば上頼訪のゆふべの道は凍りて寒し

『アララギ』大正8年(1919)1月号に発表、第一歌集『ふゆくさ』所収。前年に東
京から長野県諏訪高等女学校の教頭として赴任した文明は、諏訪で厳しい冬
を迎えました。諏訪の町に立ち並ぶ商家は、厳しい寒さゆえ、夕刻の早い時間
には軒並み表入口の大きな戸を下ろして店じまいをしました。そのしんと静ま
りかえった情景が、寒さをひとときわ際立たせます。

群馬県立土屋文明記念文学館
〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000 上毛野はにわの里公園内
tel.027-373-7721 fax.027-373-7725
ホームページ: http://bungaku.pref.gunma.jp/

※「施設概要・事業案内」の記載内容は変更となる場合があります。

教育普及事業案内

詳細や企画展関連イベント等についてはチラシや当館ホームページをご覧いた
だくか、直接お問い合わせください。

講演会・講座等(要事前申込、無料)

◎記念講演会 企画展に関連して記念講演会を開催します。原則14:00～15:30
◎連続講座等 文学やことばに関する講座等を開催します。原則14:00～15:30
【申込方法】 電話・当館受付カウンターで受け付けます。
※往復はがきによる抽選の場合あり
【申込・問合せ先】 〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000
群馬県立土屋文明記念文学館 tel.027-373-7721
【受付時間】 8:30～17:15(休館日を除く)
※事前申し込みが定員に達しない場合には、当日受付も行います。

短歌教室～伝統的な言語文化に親しむ～

当館作成の副読本や当館ホームページを活用して、各学校で授業を行っていただ
くものです。

歌人が学校に!～選歌と講評から学ぶ～

全国的に活躍する著名な歌人が小中学校・高校・特別支援学校を訪問し、授業
を行います。

第3回「群馬県児童生徒短歌展」(無料)

「短歌教室」や「歌人が学校に!」等の成果として、小中学校・高校・特別支援学
校の児童・生徒が、短冊に書いた短歌を全作品当館で展示します。

移動展

当館の展示資料を貸し出し、市町村施設、大学、高校等の主催で展示を行って
いただくものです。
【貸出可能展示資料】
「方言の豊穡、文学の実感」「詩人 大手拓次 孤独の箱のなかから」「夢みる女性
誌」「くま文学の森」「紙芝居」「群馬の詩人」「風の詩人 伊藤信吉」「山村暮鳥
真実に生きようとするもの」「いのちのえほん」「童謡のふるさと 石原和二郎の世界」
「夭折の詩人」「蕨と八重の上州」「文学者の書一筆に込められた思い」
※展示内容により貸出条件があります。お問い合わせください。

「なつやすみ おはなしのへや」「なつやすみミニシアター」などの紙芝居や絵本等に関するイベント(申込不要、無料)

夏休みにあわせ、ポラントシアによる紙芝居の上演や絵本の読み聞かせを2階の研修
室または和室で行います。1階映像展示室ではアニメの上映などを行います。保育園や幼
稚園などの団体利用も可能です。お問い合わせください。
第6回「県立文学館紙芝居フェスティバル」(8月頃)・「大人のための紙芝居」(12月頃)
を開催予定です。

学校等による利用について

隣接するかみつけの里博物館とあわせての利用で、国語、総合的な学習の時間はも
ちろん、社会科なども含めた学習が可能です。できる限り学校のご希望にお応えし
ますので、授業等でぜひ当館をご利用ください。(県内の学校は観覧無料です。)
※学校団体は2階研修室で食事可。要事前予約。

ボランティアによるティーサービス(無料)

当館2階の和室では、原則として企画展開催中の日曜日・祝日に、ボランティアが
抹茶(煎茶)の提供を行う茶席を体験できます。作法についてはボランティアから
指導がありますので、お気軽にご参加ください。
10:00～15:00(12:00～13:00を除く)
※都合により中止または時間変更になる場合があります。

自主学習会(要年会費)

文学に親しむための自主学習会を、各会年間10回程度、当館2階の研修室で開
催しています。毎年12月～1月頃に翌年度の募集を行います。
短歌 講師: 田村元氏(歌人・「りとむ」「太郎と花子」所属)
俳句 講師: 鈴木章和氏(俳人・NHK学園俳句専任講師・「翡翠」主宰)
詩 講師: 関口将夫氏(詩人・画家)
絵手紙 講師: 福田登美恵氏(日本絵手紙協会公認講師)
古典学習会 講師: 吉永哲郎氏(源氏物語を読む「蘇芳の会」主宰)
※自主学習会は、各会の会員相互の協力による自主的な運営で行われます。